

芸閣

～図書館だより～

第10号
2023年1月
桐蔭図書館発行

芸閣...「うんかく」と読みます。
書庫、書斎という意味です。
(「芸」は書籍に挿む虫除けの香草)



和歌山でも最近、冷たく寒い毎日が
続いています。1月20日は「大寒」
でした。寒いはずですが、2月4日は暦の
うへでは「立春」ですが、まだまだ寒
い日が続きそうですね。

桐蔭図書館でも購入します！
読みたい方は予約してくださ
いね！

図書館講座

豆本作りをしました！

12月21日、図書館講座がありました。
図書館員だけでなく、各クラスの
図書委員にも参加してもらい、豆本づ
くりをしました。豆本は、縦3.5セン
チ、横2.5センチの小さな本です。図
書局員は司書のレクチャーを事前に受
け、当日、参加者が作成するのを手助
けをすることになっていました。ところ
が、新型コロナウイルスによる学級
閉鎖、体調不良者が相次いだこともあ
り、参加してくれた図書委員は20人
ほど。人数が少なかったこともあり、
ほとんどの局員が当日、自分たちも作
りました。落ち着いた雰囲気の中、
皆それぞれ集中しながら作業を進め、
豆本を完成させることができました。

(1年 女子)

第168回 芥川賞 直木賞 決定

芥川賞

『この世の喜び』 井戸川射子氏
『荒地の家族』 佐藤厚志氏

直木賞

『地図と拳』 小川哲氏
『しろがねの葉』 千早茜氏

高3のみなさんへ

借りている本は、卒業までに忘れず
返却してください。

高校卒業生に対しては、受験対策等
の特別な事情がある場合にかぎり、
3月中も本を貸し出します。図書館
へご相談ください。

(裏面に新しく入った本の紹介を載せています)

新しく入った本の紹介



人生訓

『+1cm たった1cmの差があなたの世界をがらりと変える』キムウンジュ 著 文響社
『なぜかうまくいく人の「秘密の習慣」』佐藤伝 著 ディスカヴァー・トゥエンティワン



社会科学

『マスク社会が危ない!』明和政子 著 宝島社
『指と耳で見る、目と手で聞く』金治直美 著 ぺりかん社

自然科学

『せいめいのれきし』
バージニア・リー・バートン 文・絵 岩波書店
『大絶滅は、また起きるのか?』
高橋瑞樹 著 岩波書店
『環境DNA入門』源利文 著 岩波書店



産業

『いちばん大切な食べものの話』小泉武夫ほか 著 筑摩書房
『タガヤセ! 日本 「農水省の白石さん」が農業の魅力教えます』白石優生 著 河出書房新社
『食品ロスはなぜ減らないの?』小林富雄 著 岩波書店



日本の小説

『さよならの言い方なんて知らない。』
河野裕 著 新潮社
『ソードアート・オンライン 27』
川原礫 著 KADOKAWA

進路

『農業者になるには』大浦佳代 著 ぺりかん社
『港で働く』鎌田浩章 著 ぺりかん社
『生活科学部・家政学部』木村由香里 著 ぺりかん社
『芸術学部』浅野恵子 著 ぺりかん社

その他

『有吉佐和子の本棚』有吉佐和子 著 河出書房新社
『SNS別最新著作権入門 「これって違法!？」の心配が消えるITリテラシーを高める基礎知識』
井上拓 著 誠文堂新光社
『読書会という幸福』向井和美 著 岩波書店
『はじめて読む! 海外文学ブックガイド 人気翻訳家が勧める、世界が広がる48冊』河出書房新社

